



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年3月14日  
東・名

上場会社名 ICDAホールディングス株式会社 上場取引所  
コード番号 3184 URL <https://www.icda.jp>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)向井 弘光  
問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)服部 宝 (TEL) 059-381-5540  
四半期報告書提出予定日 2024年3月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	23,612	3.5	1,376	10.5	1,397	9.9	598	△26.2
2023年3月期第3四半期	22,804	11.5	1,246	7.9	1,271	8.7	811	8.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 671百万円(△20.4%) 2023年3月期第3四半期 842百万円(6.4%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第3四半期	285	16	—	—
2023年3月期第3四半期	386	52	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	18,802	46.9	9,128	53.0	—	—
2023年3月期	15,618	53.0	8,568	46.9	—	—

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 8,823百万円 2023年3月期 8,280百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	31,000	1.7	1,383	0.8	1,400	△0.3	914	3.5	435	46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	2,100,000株	2023年3月期	2,100,000株
2024年3月期3Q	207株	2023年3月期	207株
2024年3月期3Q	2,099,793株	2023年3月期3Q	2,099,793株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの主要エリアである三重県下において、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が緩和されたことにより、経済活動は回復傾向となり、個人消費も回復傾向となっております。しかしながら、為替相場の影響や原材料費の高騰により製造業を中心とした経済活動の鈍化が懸念されております。

当社グループにおいては、従来より実施している既存顧客に対するフォローアップ活動の更なる強化を図ることにより、既存顧客からの受注は堅調に推移しております。また、前連結会計年度より継続している商品(車両及び部品等)の供給遅れ又は出荷停止等の影響がほぼ無くなりました。

これらの結果、売上高は236億12百万円と前年同期と比べ8億8百万円(3.5%)の増収、営業利益は13億76百万円と前年同期と比べ1億30百万円(10.5%)の増益、経常利益は13億97百万円と前年同期と比べ1億26百万円(9.9%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億98百万円と前年同期と比べ2億12百万円(26.2%)の減益となりました。

#### ① 売上高及び営業利益

売上高は236億12百万円と前年同期と比べ8億8百万円(3.5%)の増収、営業利益は13億76百万円と前年同期と比べ1億30百万円(10.5%)の増益となりました。セグメント毎の売上高及び営業利益は以下のとおりであります。

##### (自動車販売関連事業)

当セグメントにおきましては、新車販売は、半導体不足等による製造ライン稼働率低下の影響による商品供給遅れは回復し、在庫車両の販売等に注力することで新車販売台数は前年同期比を上回ることができました。国産新車販売台数は前年同期比4.4%増の4,087台となり、輸入車販売台数は前年同期比4.2%増の350台となりました。これらの結果、新車販売台数は前年同期比4.4%増の4,437台となりました。

中古車販売については、既存顧客からの受注が堅調に推移しております。しかし、第2四半期連結累計期間までは中古車オークション相場が、商品不足による中古車オークション相場の乱高下の影響を受けたことで、卸売(業販)が大幅に減少し、中古車販売台数は前年同期比8.4%減の6,478台となりました。

これらの結果、売上高は225億54百万円と前年同期と比べ7億83百万円(3.6%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は14億18百万円と前年同期と比べ1億53百万円(12.1%)の増益となりました。

##### (自動車リサイクル事業)

当セグメントにおきましては、生産台数(再資源化处理)は前年同期比2.6%減の6,491台となり、使用済自動車の入庫は、前年同期比2.6%減の6,252台となりました。売上高は、鉄及びアルミ並びに希少希土類(レアアース・レアメタル)等の資源相場下落により減少しておりますが、輸出関連売上は増加しております。また、売上原価は、中古車オークション相場の大幅な価格変動の影響が少なくなりました。

これらの結果、売上高は10億58百万円と前年同期と比べ24百万円(2.4%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は1億23百万円と前年同期と比べ28百万円(18.7%)の減益となりました。

#### ② 経常利益

営業外損益については、営業外収益は減少し、営業外費用は減少いたしました。しかし営業利益が増加したことにより、経常利益は13億97百万円と前年同期と比べ1億26百万円(9.9%)の増益となりました。

#### ③ 親会社株主に帰属する四半期純利益

親会社株主に帰属する四半期純利益については、経常利益の増加がありましたが、貸倒損失の計上により税金等調整前四半期純利益は11億15百万円と前年同期と比べて1億46百万円(11.6%)の減益となり、法人税等(法人税等調整額を含む)は4億93百万円となりました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は5億98百万円と前年同期と比べ2億12百万円(26.2%)の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より31億83百万円増加し、188億2百万円となりました。これは主に、商品及び製品の増加25億75百万円、土地の増加73百万円、現金及び預金の減少1億35百万円等によるものであります。なお、土地については、自動車販売関連事業における「SDGs×脱炭素経営」に向けた取り組みの一環として取得いたしました。また、有形固定資産 その他(純額)については、新店舗(三重県度会郡玉城町)に係る建設仮勘定の増加が影響しております。

### ② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末より26億23百万円増加し、96億73百万円となりました。これは主に、借入金の増加18億94百万円、買掛金の増加9億50百万円、未払法人税等の減少64百万円等によるものであります。

### ③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より5億60百万円増加し、91億28百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上5億98百万円、配当金の支払1億4百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、概ね計画通り推移していることから、2023年5月15日公表の連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	758,873	622,968
受取手形及び売掛金	498,015	508,483
商品及び製品	3,384,094	5,959,390
仕掛品	7,277	6,175
原材料及び貯蔵品	88,151	65,305
その他	209,653	460,298
貸倒引当金	△203	△223
流動資産合計	4,945,862	7,622,399
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,391,485	2,293,552
土地	5,796,139	5,869,373
その他（純額）	1,370,347	1,897,173
有形固定資産合計	9,557,971	10,060,100
無形固定資産	37,758	37,157
投資その他の資産	1,077,224	1,082,689
固定資産合計	10,672,955	11,179,946
資産合計	15,618,817	18,802,346

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,794,507	2,744,716
短期借入金	1,495,120	3,390,000
未払法人税等	269,088	204,329
前受金	1,575,975	1,582,399
賞与引当金	161,034	82,480
その他	635,279	517,023
流動負債合計	5,931,004	8,520,949
固定負債		
役員退職慰労引当金	323,888	333,426
退職給付に係る負債	729,593	759,519
その他	65,882	59,555
固定負債合計	1,119,364	1,152,501
負債合計	7,050,369	9,673,451
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,161,078	1,161,078
資本剰余金	1,148,992	1,148,992
利益剰余金	5,882,432	6,376,223
自己株式	△378	△378
株主資本合計	8,192,124	8,685,915
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,732	81,013
退職給付に係る調整累計額	60,471	56,976
その他の包括利益累計額合計	88,204	137,990
非支配株主持分	288,118	304,989
純資産合計	8,568,448	9,128,895
負債純資産合計	15,618,817	18,802,346

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	22,804,194	23,612,500
売上原価	18,267,762	18,827,939
売上総利益	4,536,432	4,784,560
販売費及び一般管理費	3,290,283	3,407,648
営業利益	1,246,148	1,376,911
営業外収益		
受取配当金	9,913	11,968
受取賃貸料	8,760	9,050
受取保険金	23,724	10,762
受取負担金	—	2,780
その他	5,322	6,073
営業外収益合計	47,720	40,634
営業外費用		
支払利息	9,891	10,639
支払手数料	7,244	6,786
その他	5,224	2,337
営業外費用合計	22,360	19,764
経常利益	1,271,508	1,397,781
特別損失		
貸倒損失	—	282,560
固定資産除却損	9,330	—
特別損失合計	9,330	282,560
税金等調整前四半期純利益	1,262,178	1,115,220
法人税、住民税及び事業税	383,636	427,192
法人税等調整額	38,359	66,665
法人税等合計	421,995	493,857
四半期純利益	840,182	621,363
非支配株主に帰属する四半期純利益	28,560	22,582
親会社株主に帰属する四半期純利益	811,622	598,780

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	840,182	621,363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,301	53,280
退職給付に係る調整額	△532	△3,516
その他の包括利益合計	2,769	49,763
四半期包括利益	842,951	671,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	814,162	648,566
非支配株主に係る四半期包括利益	28,788	22,560

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(当社元役員による不正行為について)

2024年2月1日付「当社元役員による不正行為発覚に伴う特別調査委員会設置並びに2024年3月期第3四半期決算発表の延期及び当該四半期報告書の提出期限の延長申請の検討に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、2023年11月から実施された当社子会社の株式会社ホンダ四輪販売三重北及び株式会社オートモールに対する税務調査及び社内調査の結果、当社元役員が2016年4月から2023年10月までの期間において、中古車の買取取引等を利用した金銭の着服を行っていたことが判明いたしました。

当社元役員による金銭の着服額282,560千円については当該元役員に対する損害賠償請求権と認識しておりますが、その全額が回収不能であると判断していることから、貸倒損失として計上しております。また、当該着服額のうち過年度分については、売上原価、修繕費及び減価償却費を過大計上していたものであることから、当該部分につき売上原価136,300千円、販売費及び一般管理費69,206千円を減額修正いたしました。さらに、法人税等の修正申告に伴う追徴税額等100,028千円を法人税等に含めて計上しております。

なお、本件不正行為による過年度の連結財務諸表に与える影響は軽微であると判断したことから、過年度の連結財務諸表等の訂正は行わず、当第3四半期連結累計期間において一括処理することといたしました。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,770,114	1,034,079	22,804,194	—	22,804,194
セグメント間の内部 売上高又は振替高	65,921	31,082	97,004	△97,004	—
計	21,836,036	1,065,162	22,901,198	△97,004	22,804,194
セグメント利益	1,264,987	151,859	1,416,846	△170,698	1,246,148

(注) 1. セグメント利益の調整額△170,698千円には、セグメント間取引消去△9,392千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△161,306千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,554,089	1,058,410	23,612,500	—	23,612,500
セグメント間の内部 売上高又は振替高	37,356	38,096	75,452	△75,452	—
計	22,591,445	1,096,507	23,687,952	△75,452	23,612,500
セグメント利益	1,418,485	123,423	1,541,909	△164,997	1,376,911

(注) 1. セグメント利益の調整額△164,997千円には、セグメント間取引消去2,714千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△167,712千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。